

2014年3月31日

各位

## 積水ハウス株式会社

### 積水ハウスのキッズでざいん「コドモイドコロ」 子どもたちの安全・安心を高めるプロセス認証制度 キッズデザイン協議会「CSD認証」、制度初の認証登録

積水ハウス株式会社(社長:阿部俊則、本社:大阪市北区、以下「積水ハウス」)のキッズでざいん「コドモイドコロ」のデザインプロセスが、キッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都港区)が開始した、子どもの安全の向上を目的とする第三者認証制度である「CSD(Child Safety through Design)認証」において、制度初の認証登録を取得しました。



《「コドモイドコロ」の提案例》



《認証ロゴマーク》

**認証登録概要：積水ハウスのキッズでざいん「コドモイドコロ」**

「コドモイドコロ」は子どもの生きる力を育む住まいの提案。その中で、子どもの安全に関連した製品・空間のデザインプロセスをもって、子どもの安全に配慮した家づくりの設計思想を認証。

CSD(Child Safety through Design)認証※1は、産業界全体の安全品質がボトムアップし、子どもを安全に育む社会環境が高度化することを目指してスタートした制度です。

製品・環境・サービス各々に定められている安全基準や規格の遵守だけでは解決できない子どもの事故に対して、実際に起きた事故、類似事故、あるいはヒヤリハット情報に基づき、キッズデザイン協議会が「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」に関する安全性のガイドラインの原則を定めました。そのガイドラインを遵守し、自社の既存の事業プロセスにキッズデザインプロセス※2を導入し、循環させることで、安全を高めようとするプロセス認証制度が、CSD認証制度です。

今回の認証登録では、積水ハウスのキッズでざいん「コドモイドコロ」の、発達に合わせた子どものための居どころをつくり、安心して暮らしながら、生きていくための力を自然に育むという設計思想の基本となる、安全に配慮した住まいづくりのデザインプロセスが認証されました。

積水ハウスは、快適な暮らしを先進の技術で実現するというブランドビジョン「SLOW & SMART」に基づき、これからも、次世代を担う子どもたちの成長にとって最適な住環境を実現する住まいづくりに貢献してまいります。

※1 CSD認証に関する詳細 キッズデザイン協議会HP <http://www.kidsdesign.jp/>

※2 キッズデザインプロセスは、「デザインコンセプト」、「デザインレビュー」、「カスタマーコミュニケーション」、「事故情報・ユーザーニーズ収集・分析」の4項目から構成されています。

## ■キッズでざいん「コドモイドコロ」の特長

積水ハウスは、子どもの住環境に関する長年の生活研究を基盤に、子どもの健やかな成長に目を向けた住まいづくり「キッズでざいん」を2007年に発表し、「子育て+子育て」の視点から“子どもの生きる力を育む住まいづくり”を提案してきました。2012年から、子どもの生きる力を育む「居どころづくり」の充実と、安全と自主性を考えた「子どものためのスマートユニバーサルデザイン」の考え方をさらに深め、「コドモイドコロ」として子育て世代に提案しています。

### 「コドモイドコロ」のポイント

#### ①子どもの居どころづくり

「みんなといっしょコドモイドコロ」と「じぶんだけのコドモイドコロ」を発達段階に合わせて提案

#### ②子どもの安全を確保し自主性を育む

子どものための「スマートユニバーサルデザイン」

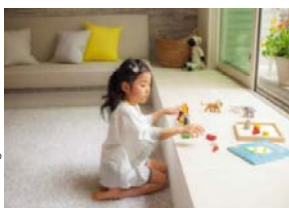
### ①子どもの居どころづくり

#### 「みんなといっしょコドモイドコロ」

家族の集まるリビングは、生活の音あふれるにぎやかな空間。その中に、子どものための「居どころ」をつくってあげることで、子どもは安心して遊び、暮らしていくための多くのことを学びます。

〈ピットリビング〉

床を一段低くすることで、家族が自然に集まるスペースを提案しています。



〈ステージリビング〉

床の高さを変えることで、独立した雰囲気をつくり、子どもが自由に過ごしながらもお互いの気配を感じることができる空間をつくり出します。



#### 「じぶんだけのコドモイドコロ」

お気に入りのものや自分でコーディネートしたインテリアに囲まれた空間は、部屋への愛着が生まれ、知性・社会性を育みます。

〈ロフト〉

上に広がるわくわく秘密基地。階段上り下りは、遊びのワクワク感を高めてくれると共に、身体の発達を自然に促してくれます。



〈間仕きる一む〉

可動間仕切収納「ヴァリエス」で、成長に合わせて変化してくれる空間です。



### ②子どものための「スマートユニバーサルデザイン」

子どもにとって住まいは絶好の遊び場。階段を駆け上がったり、部屋を走り回ったり、身体力を発達させています。知識や注意力が未熟なため、危険を察知しにくいのが子ども。「小さい」「弱い」「わからない」という子どもの特性による危険を防止し、自主性を育むことで安心して成長できる、子どものためのユニバーサルデザインを設計思想に取り入れた住まいづくりを提案しています。



〈姿勢を保持しやすい〉

幼い子どもはトイレの姿勢が不安定。手が届くところに手すりがあれば、つかまることができ姿勢が安定します



〈ケガしにくい〉

ドアを開ける時には、引き手中央の手掛けに指を掛け指はさみをしにくよう配慮。ソフトクローズ機構で、勢いよくドアを閉めても、スピードが吸収され、指はさみを防止します



〈すべりにくい〉

階段の先端部に柔らかくてすべりにくい素材を使用。万が一、転んでしまっても、大けがをしにくい工夫です